

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位	必修
担当教員			
陣内 敦			

講義概要	本演習では、造形活動の幼児教育における意義を理解するとともに、自然物を用いた工作、壁面制作、絵画制作、立体工作などをおこなう。また、教材研究と指導法研究を学生の個人個人が独自に行い、授業内で発表の後、これに対する相互の意見交換を行なう。また、最終的に研究レポートを作成する。
授業計画	<p>1 オリエンテーション 幼児の造形活動の重要性について 学習課題 予習：学科時代の表現造形活動の振り返りをおこなう 復習：造形活動を通して子どもたちの育ちをはぐくむべきかを考える</p> <p>2 幼児の表現活動の支援① こどもの部屋の運営準備（劇の大道具作り） 学習課題 予習：制作物の用い方を考慮し、デザインを考える 復習：制作物の改善をおこなう</p> <p>3 幼児の表現活動の支援② こどもの部屋の運営準備（劇の大道具作り） 学習課題 予習：制作物の用い方を考慮し、デザインを考える 復習：制作物の改善をおこなう</p> <p>4 幼児の表現活動の支援③ こどもの部屋の運営準備（劇の小道具作り） 学習課題 予習：制作物の用い方を考慮し、デザインを考える 復習：制作物の改善をおこなう</p> <p>5 幼児の表現活動の支援④ こどもの部屋の運営準備（劇の小道具作り） 学習課題 予習：制作物の用い方を考慮し、デザインを考える 復習：制作物の改善をおこなう</p> <p>6 幼児の表現活動の支援⑤ こどもの部屋の運営準備（環境構成） 学習課題 予習：制作物の用い方を考慮し、デザインを考える 復習：制作物の改善をおこなう</p> <p>7 自然物を用いた工作① ナチュラルアートの制作 学習課題 予習：自然の与える感覚について考える 復習：自然物の素材の温かさを大切にしながら構想を続ける</p> <p>8 自然物を用いた工作② ナチュラルアートの制作 学習課題 予習：構想を具体的イメージにつなげていく 復習：お互いの作品を鑑賞する</p> <p>9 壁面制作① 切り紙とらくがき遊び 学習課題 予習：らくがきの楽しさについて考える 復習：切り紙の不思議さを楽しみ構想を続ける</p> <p>10 壁面制作② 切り紙とらくがき遊び 学習課題 予習：構想を具体的イメージにつなげていく 復習：お互いの作品を鑑賞する</p> <p>11 絵画制作① 野菜のスタンプ遊び 学習課題 予習：自然物の持つ形のおもしろさについて考える 復習：お互いの作品を鑑賞する</p> <p>12 絵画制作② フィンガーペインティング 学習課題 予習：フィンガーペインティングの魅力について考える 復習：お互いの作品を鑑賞する</p> <p>13 立体工作① ダンボールアート（共同制作） 学習課題 予習：ダンボールで作りたいものを考える 復習：ダンボール素材の温かさを大切にしながら構想を続ける</p> <p>14 立体工作② ダンボールアート（共同制作） 学習課題 予習：構想を具体的イメージにつなげていく 復習：共同で作った作品を鑑賞する</p> <p>15 表現造形活動の構想 指導案作成 学習課題 予習：幼児のクラス編成を想定し、理想的な造形活動を構想する 復習：造形活動によって得られる効用について考える</p>

授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①幼児の造形活動についての重要性を理解する ②幼児の造形活動を計画する方法を習得する ③幼児の造形活動を支える事前準備と環境構成について理解する ④幼児の造形活動に対する保育者の支援内容を習得する ⑤幼児の様々な活動を支える造形の役割を体験する
教科書・参考書	課題ごとに、必要な参考資料を提示。 参考書：『保育をひらく造形表現』 槇英子著 萌文書林
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受け付ける。任意に研究室を訪ね質問することも可能である。
備考・メッセージ	課題ごとの材料と道具は、一括購入する物と各自準備する物との別があり、事前連絡に留意すること。 また、課題ごとに設けた作品提出期限を厳守すること。